

テフロクロノロジーによる徳島県神山町の高根地すべり，東大久保地すべりの発生時期の推定

Tephrochronological age estimate of the Koune Landslide and the Higashiohkubo Landslide in Kamiyama Town, Tokushima, Japan

西山 賢一 [1]; 北村 真一 [2]

Ken-ichi Nishiyama[1]; Shinichi Kitamura[2]

[1] 徳島大学; [2] なし

[1] Tokushima Univ.; [2] none

徳島県神山町に分布する高根地すべり，東大久保地すべりの2つを対象とし，移動体を被覆する指標テフラの検出を試み，地すべりの発生時期の推定を行った。高根地すべりの二次的な地すべりの移動ブロックはK-Ahに覆われるが，土層に含まれるATは一次的に堆積したものではなく，周辺斜面から二次的に堆積したものと考えられることから，二次的な地すべりは約7,300年より古く，土層の層厚から推定される発生時期は約1.6万年前である。したがって，地すべりの発生時期は，約7,300年前～1.6万年前の間のある時期であると考えられる。初生地すべりは，テフラからは地すべりの発生時期が推定できないが，二次的地すべりよりも古い地すべりであることから，約1.6万年前よりも古い地すべりであると考えられる。したがって，高根地すべりの発生時期は，約1.6万年前より古い時期と考えられる。

東大久保地すべりは，テフラから推定される地すべりの発生時期が7,300年前より古い時期であり，土層の層厚から推定される発生時期は約2.9万年前である。したがって，地すべりの発生時期は，約7,300年前～2.9万年前の間と考えられる。